



SAIE かわら版

vol. 85

国籍を超え、相互理解を深め、「つながり・きずな」を大切に

参加者募集

SAIE主催
イベント
01

JICA講演会
「グアテマラを知る」
～ソフトボールから国際協力
そして...地域へ～



講師
さとみ
有泉仁美さん
(青年海外協力協会
JOCA 大阪マネージャー、
平成3年度3次隊
グアテマラソフトボール)

JICA 青年海外協力隊としてグアテマラに渡り、活動をされていた方の講演会です。グアテマラはどんな国なのでしょう。活動期間も含めて、現地に10年以上滞在していたお話をさせていただきます。

* JOCA (青年海外協力協会) とは、JICA 海外協力隊員として途上国でボランティア活動をしてきた方々で作った組織です。

- 日程：2021年11月18日(木)
午後1時半～3時半
- 場所：摂津市立コミュニティプラザ 会議室 3・4
- 定員：25名
- 参加費：無料
- 申込：協会まで電話・メールで受付

参加者募集

SAIE主催
イベント
02

国際理解講座
いつか中東・ドバイに
行ってみよう！



講師
佐藤未奈さん
(元エミレーツ
航空客室乗務員)

中東・ドバイと聞くと何を思い浮かべますか？ 砂漠、ラクダ、石油、イスラム教、危ないイメージ...文化や宗教の違いから「遠い存在」という印象があるかもしれません。世界中から多国籍の方が集まるアラブ首長国連邦、ドバイに10年間在住していた方からお話をききます。コロナ禍でしばらく自由に旅はできないけれど、異なる文化に関心を持ち、遠い国や民族に想いを馳せてみませんか。

- 日程：2021年12月7日(火) 午後2時～4時
- 場所：摂津市立コミュニティプラザ 会議室 3・4
(ZOOM参加可、要予約)
- 定員：25名
- 参加費：無料
- 申込：協会まで電話・メールで受付

*新型コロナウイルス感染拡大の状況により、予定を変更する場合があります。

ボランティア募集中！

摂津市国際交流協会では、イベント・講座などの企画と一緒に発案・運営して下さる方を募集しています。気軽にお問合せください。

- こんな楽しいイベントをしてみたい
 - 海外に興味があって、こんなことをしてみたいけど叶えられるかな
 - よく分からないけど、外国に興味があるから参加してみたい
- など、あなたの興味のあることを一緒に楽しく活動をしなが叶えませんか？

LINE

公式アカウント
アカウント名：
摂津市国際交流協会
ID：@462xxegy

ぜひ登録
してね！



Review イベント報告



日本語支援ボランティア養成講座 スキルアップ編～『きいてまねしてはなして』を使って～

- 講師：安田乙世さん（教材執筆者、日本語教育支援グループ「ことのは」理事）
- 開催日：2021年9月14日、21日、28日（火）午後2時～4時
- 開催場所：コミュニティプラザ会議室4 ● 1回目参加者：17名 2回目参加者：16名 3回目参加者：17名

地域で学ぶ入門期からの日本語学習教材「きいてまねしてはなして」の執筆に携わられた安田乙世さんを招いて、地域で暮らす外国の方へどのように学習支援を行っていったらよいのかということ、支援者の視点と学習者の視点から実用例をあげながら教えていただきました。まったく話せない方にはテキストと連動させた絵カードを使って分かりやすく、上達してきた方には学習者が「自分を語る」というかたちで、繰り返し学んでいくことで定着していくということがとてもよく分かりました。

WEB講習会（第2回）～ZOOM活用法～

- 講師：橘明日香さん（モバイルエール代表） ● 開催日：2021年8月31日（火）午後2時～4時
- 開催場所：コミュニティプラザ5・6、ZOOM ● 参加者：18名（うち、オンライン参加2名）

第1回目の入門編からステップアップした内容で、ZOOMの便利な機能（画面の共有、チャット、ホワイトボード、ブレイクアウトルーム、バーチャル背景など）を紹介していただきました。ご自宅からリモートで参加された方もおられ、皆さんそれぞれのスマホやパソコンを使っての体験型講習会となりました。



OFIX主催「やさしい日本語ネットワーク会議」

- 開催日：2021年7月14日（水）午後2時～4時 ● オンライン参加1名

松原市民コーディネーターの方を講師に国民保険などの「やさしい日本語」での対応のお話を聞きました。相手に伝わる言葉で話すことの大切さをお話しされました。

CETアカデミックプログラム（CET：アメリカ人学生のための留学派遣機関）

- 夏学期インタビュー（オンライン参加4名）開催日：2021年7月7日（水）午前9時10分～10時50分
- 日本語発表交流会（オンライン参加2名）開催日：2021年7月28日（水）午前8時～10時50分

トピック&感想（一部紹介）

● 入れ墨文化

入れ墨については、アメリカでは、自由な自己を表現するために1800年代に軍人がいれだし、現在入れ墨の技術的な改善もされて、18歳から入れることができ、自己表現やおしゃれのために入れる人が多い。発表者も入れ墨をしているが、日本で銭湯や温泉で入浴を断られたと話していた。入れ墨は、今は割と簡単に消せると話していたが、日本とアメリカでは、入れ墨の入れ方が違うのかもしれない。

● ニューヨークの料理

印象的だったのは、ニューヨークの料理でピザの話がありましたが、ピザトーストは、アメリカにはなく、日本だけの食べ物だということに少し驚きました。

みんなに語ろう わたしの国際交流

大阪薫英女学院中学校・高等学校

新しく国際交流協会会員による活動紹介コーナーを設けました。第1回は、法人会員「学校法人 薫英学園」さんでの国際交流の取り組み情報を提供いただきました。

1年間留学を今年も実施中！

進学実績と先進的な英語教育が魅力の薫英女学院には、1988年から始まった1年間の留学制度があります。これまでに延べ4,400人以上の生徒が長期海外留学を経験し、グローバル社会で活躍する抜きんでの英語力とともに、異文化の中で、現地でしか得ることのできない人間的なたくましさや身を身につけて帰国しました。個人留学ではなく国際科の生徒全員が約50校の姉妹校に分散して留学する薫英独自のプログラムによって、文化も言葉も全く異なる環境での「大変さ」を乗り越え、成長しています。



そしてこのコロナ禍の中でも、生徒たちは留学を決意しました。現地では、例年では考えられないような苦勞もたくさんありますが、このような困難な状況だからこそ育まれる「たくましさ」があります。多様性を肌で感じながらたくさんの人と関わり、揉まれ、支えられていることを実感する。日本から送られてくる学級通信で留学中の仲間の奮闘ぶりを知り、「この同じカナダの空の下で、みんなも頑張ってるんや」と仲間と心で支え合いながら、「なりたい自分」を発見して帰国する…。我々が大切にしている留学とは、ヒト・モノや実社会に実際に触れ、かかわり合う「直接体験」なのです。



また、薫英留学では現地アドバイザーの配置など留学支援システムにより、現地と綿密に連絡を取り合い、PCR検査等も含めて「安全・安心」の確保に万全の体制を整えています。

昨年度留学を経験した生徒たちは、無事全員がそのプログラムをまっとうし、今は国内で元気に学校生活を送っています。現在は、この3月に出発した中高一貫コースの高1、高校から入学した国際科の高2、合わせて68名の生徒がカナダで奮闘しています。

海外留学を経験した生徒の卒業後は、とても多様です。モンゴルで学校づくり、米ノースダコタでパイロットをはじめ、弁護士、医者、ドクターヘリで飛び回る看護師長、ラグビーワールドカップの時にはNZ大使館に勤務してアーダーン首相の来日をコーディネート、外務省キャリアとしてAPEC事務局に出向し実務者協議の中心として奔走...など、日本国内にとどまらず、さまざまな国や地域で活躍しています。今、現地で奮闘する生徒一人ひとりが、その先輩たちに続くことを願いながら、薫英女学院では今日も教育を推進しています。



～日本語サロンではこんなことをしています～

● 毎週木曜日 10:00～11:30 コミュニティプラザ2階

「日本語サロン」は、外国から来た方と日本語でおしゃべりするところです。どなたでも、小さいお子さん連れでも参加できます。ふだんの暮らしのおしゃべりを通して多くの方々と交流してきました。また、お花見や七夕などには料理を持ち寄ったり、季節の行事の紹介をしたり、一緒に出かけたりしてきました。

しかし、新型コロナウイルス感染症による緊急事態宣言で、集まるのが難しい状態が続いています。生活も仕事も変わってしまって、外国の方が帰国するのも入国するのも難しくなりました。地域に住んでいる外国の方にとっても、仕事もふだんの生活もたいへんなのではないのでしょうか。コロナ禍であっても、ふだんの生活や災害への備え、さまざまな情報は大切だと思います。話す機会がなくなり、とても残念で、気になっています。そこで、摂津市国際交流協会(SAIE)のLINEで短い簡単な文(「やさしいにほんご」)で情報発信を始めました。

今は、どんなことができるか、どんなことを、どうすればわかりやすい言葉で伝えられるかをサロンで考え、ZOOMの使い方の練習にも取り組んでいます。これからも交流の機会が増え、お互いに情報交換ができることを楽しみにしています。



都市交流部会からの発信 ～今、国際交流協会としてなにができるか～



摂津市国際交流協会には、総務部会、事業部会、都市交流部会の3部会があります。都市交流部会は、友好都市(中国・蚌埠市、オーストラリア・バンダバーグ)との交流促進をすることを目的に活動をしている部会です。部会をまとめる部会長は、本年度から摂津ロータリークラブから参画されている中井哲男さんです。コロナ感染予防のため海外との交流が制限される中、今後の活動について、2021年9月8日(水)に会議が開催されました。

バンダバーグ市のあるクイズランド州での履修外国語選択では日本語選択率は50%を超えており、日本語への興味関心の高さが伺えます。部会では、この状況下で友好関係を保ったまま、2年後の協会30周年を迎えるために、どのような交流ができるのかについて話し合いが行われました。結果、インターネットでの交流に取り組んでいくことになりました。



フィリピンではバナナの種類が豊富で、食べ方もいろいろあります。フルーツとしてだけでなく、調理用の野菜としても使われています。小さめのサバ・バナナは、味が渋めで中はパサパサしています。春巻きの皮で包んで油で揚げた「トゥロン」というおやつとして親しまれており、さつま芋のような食感です。また、バナナの葉っぱをお皿にして、みんなで手づかみで食事を楽しむ「Boodle fight」という食べ方もあります。マニラのある日。突然スコールが降り出したとき、バナナの葉っぱを傘がわりにして歩いていた人を見た時は驚きました！フィリピンではバナナは日常に欠かせないものなのです。



摂津市国際交流協会

〒566-0021 摂津市南千里丘 5-35
摂津市立コミュニティプラザ 2F
TEL : 06-6319-6251 FAX : 06-6318-6004
Email : office@settsu-saie.org
URL : <http://settsu-saie.org>

会員募集

- 年会費：個人：3,000円 家族：5,000円 青少年：1,000円
法人・団体：10,000円(1口)
 - 当協会の事業に無料または割引での参加特典がございます。
 - 「かわら版」のお届けと催事参加申込みなども優先的に受け付けます。
- 開室時刻：平日 9:30～12:00、13:00～16:30(休館：第4水曜日)